

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

熊本市立天明中学校

教諭 川上 治久

1 単元名 「私たちが守る天明の豊かな自然～環境保全ボランティアとの協働を通して～」

2 単元の目標

- 天明中校区の自然、産業、人口などの知識をもとに、環境保全の重要性を理解し、地域の環境保全活動に携わる大人に伝わるようにプレゼンテーションにまとめることができる。（知識及び技能）
- 人口推移のグラフや、小・中学校のボランティア経験、新聞記事をもとに課題を見だし、地域の住民が地域に愛着を持ち、安心して暮らすことができるようにするための方策を考えたり、考えたことについてプレゼンテーションを通して伝えたりすることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 天明中学校校区で暮らす人たちが愛着と誇りを持ち、安心して暮らせるようにしたいという目的意識をもち、意欲的に地域住民と関わったり、環境保全について学んだことをプレゼンテーションにまとめたりすることができる。（主体的に学習に取り組む態度）

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、「天明中環境保全隊への任命」、「地域の環境保全活動家との出会い」、「住民が愛着と誇りを持って暮らしていくための資料づくり」を教材として取り上げる。

天明中学校校区の環境 NPO 法人「天明環境保全隊」や「天明水の会」の方々を招き、活動の意義を説明していただくことで、生徒の学ぶ意欲を高めることができる。また、天明中環境保全隊としての活動を地域の活動家や農家、漁業関係者の方に説明する活動を通して、地域の実態を把握したり、これからの活動に具体性をもたせたりすることが期待できる。さらには、地域住民とのコミュニケーションを通して、人とのつながりの心地よさや、関係を深めるコミュニケーションのスキル向上も図ることができる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、第3学年において、地域の環境保全活動家とともに水質改善を図る炭焼きと用水路への設置を行う活動をしてきている。この活動を通して、天明中環境保全隊としての振る舞いを学んできている。また、縦割り活動を通して後輩に接する姿も見てきている。さらには、4月の対面式や生徒総会の際に、天明中環境保全隊の意義、喜びなどを聞き、活動への意欲をもっている。

また、社会的な事象や身の回りの実態などから課題を見つけたり、友だちとの対話を通して考えを練り上げて具体的に実践することができたりすることができるようになったこの期に本課題を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、天明中校区の自然環境や産業構成、熊本市南区の人口推移及び、年齢構成を示したグラフを提示する。このことを通して、自然豊かな天明の地域は、人々の努力によって環境

が保たれており、将来にわたって活動の継承が必要であること、その一方で、南区は将来的に人口減が進み、高齢者の割合は増加傾向が続いていることに気付かせる。その資料をもとに、今後の天明中校区の姿について具体的に話し合わせることを通して、まちづくりについての課題をつかませたい。

次に、地域の環境 NPO 法人をゲストティーチャーとして招き、その仕事内容や意義を学ばせる。その上にたち、天明中環境保全隊として任命することで、さらなる意欲や責任感をもたせる。

そして、これらの活動を通して、地域づくりに直接貢献できたということを振り返らせ、さらに自分たちにできることはないだろうかと話し合わせることを通して、これからの活動にもつなげていくようにする。

(4) ESD との関連

・ 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

相互性…現在の地域の様子は、そのまま未来の地域の姿であり、自分や身内の者が年老いた時に、安心が担保されていない地域となっている可能性があるということ。

公平性…地域の自然環境はそのままでは荒れてしまう。地域の環境保全に尽力する大人たちに全て任せるのではなく、同じ地域に住む者として、中学生にできることをやるのが大切であること。

連携性…これからのまちは、地域の農家や環境保全活動家だけで支えるのではなく、地域全体で支えていくことが大切であること。

・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

人口推移グラフをもとにこれからの熊本市南区を予測し、天明中環境保全隊として安心・安全なまちづくり一端をいかに担うかを計画する。

コミュニケーションを行う力

天明の自然環境を保全し、自分たちにできるまちづくりについて、意見交流を通して自分の考えをつくりあげる。

つながりを尊重する態度

地域の環境活動家や、農家、コミュニティセンター職員などとの関わりを通し、様々な人とのつながりが豊かな学びになっているということを実感し、尊重しようとする。

進んで参加する態度

地域の環境保全のために自分にできることはないかと考え、意欲的に関わりをもとうとしたり、考えをつくらうとしたりして、地域社会に貢献しようとする。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正

自分たちだけでなく、高齢者や幼い子どもなど、同じ時間を過ごす皆が安心して過ごせるまちづくりが大切である。

人権・文化を尊重する。

皆が安心して過ごせるように努めなくてはならない。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する。

自分たちの世代だけが幸せであることが、将来的にも幸せであるとは限らない。

・達成が期待される SDG s

3 すべての人に健康・福祉を

1 1 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<p>①南区の人口構成や天明中校区の自然、産業などの知識について理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらを関係づけながらまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>①資料をもとに課題を見だし、愛着と誇りを持てるまちづくりのための方策を考えている。</p> <p>②環境保全について学んだことや考えたことをプレゼンテーションに表現したりしている。</p>	<p>①校区の人たちが地域に愛着と誇りを持ち、安心して暮らせるようにしたいという目的意識をもち、意欲的に環境保全に取り組もうとしている。</p> <p>②環境保全ボランティアを通して、地域の自然環境の実態を意欲的につかみ、自分にできることを模索しようとしている。</p> <p>③環境保全について学んだことを地域の人に理解してもらえるように発信しようとしている。</p>

5 単元の指導計画（全6時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 熊本市南区の人口推移のグラフをもとに、南区の課題と今後の活動の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人がどんどん少なくなっていく。 ・天明の豊かな自然は維持されていくのかな。 ・環境 NPO 法人や先輩たちのように環境保全活動が将来も続いていけば安心だ。 	<p>○熊本市南区の人口推移のグラフ（今後20年先まで予測したもの）を提示し、特に高齢者と若者の割合に着目させ、課題を明確にさせるとともに、先輩たちが行ってきた環境保全ボランティアの活動の意義を改めて考えさせるようにする。</p>	<p>イ① (思判表)</p>

<p>2 環境 NPO 法人の活動内容について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 次産業の盛んな天明にとっては欠かせない仕事だ。 <p>3 活動の意義と活動されている大人の思いについてインタビューする。</p> <p>4 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの校区の現在と将来のために活動してくれて嬉しかった。 ・他に私たちにできることはないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員にその仕事について説明してもらい、活動の意義をつかませる。 ○地域の実態をつかませるとともに、環境 NPO 法人との関係をつくらせるために、インタビューを行う。 ○今後の活動へと連続発展させていかなるために、交流を通して得た思いを想起させる。 	<p>ウ① (主体的)</p> <p>ウ② (主体的)</p>
<p>5 環境 NPO 法人の講師と天明の自然環境について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区の用水路にたくさんの生き物がおり、多様性がある。 ・緑川河口の海底にあるヘドロの沈殿が毎年悪化していることが海苔の成育に悪影響を与えている。 ・緑川周辺の環境汚染について調べて伝えられないかな。 <p>6 「天明レッドデータブック」を作成する。校区に住む濱部さんの話</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">理科「私たちの町の自然環境」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫が生育できる環境に必要なのは、卵を産む畦がある流れがおだやかな用水路や川なんだね。 ・自分たちは大丈夫と思われるかもしれないから、ここ数年で農家の担い手が減少しており、耕作放棄地が増加し、生き物が生育するのに必要な土壌環境が悪化していることを初めに書いておこう。 <p>7 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機意識をもってくれたらいいな。 ・後輩のために環境ボランティアの活動も活発にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○緑川河口の環境汚染の新聞記事を提示し、地域の農家や漁師のために、自分たちでできることはないかと考えさせるようにする。 ○GTを招いたり、理科単元と関連させたりして、内容の質や見やすい構成についても意識させ、相手意識をもたせるようにする。 ○今後の活動へと連続発展させていかなるために、環境保全隊としての役割にも着目させるようにする。 	<p>イ① (思判表) ウ② (主体的)</p> <p>ア①② (知・技)</p> <p>イ② (思判表)</p>